

第54回 全国建設業労働災害防止大会

- ◎ 日 時：平成29年10月5日（木）、6日（金）
- ◎ 場 所：北海道立総合体育センター（北海きたえーる）
- ◎ 参加者：（安全委員会）杉山利富美、守田主一、松嶋進治

10月5日（木）総合集会（北海道立総合体育センター・北海きたえーる）

13：00 会場到着

13：15 開会

黙祷の後、建設業労働災害防止協会・錢高一善会長の挨拶につづき、来賓（厚労大臣、国交大臣、北海道知事、札幌市長）等の挨拶により開会。

13：50 安全衛生表彰及び顕彰基金による顕彰

熊本地区から

「所長賞」 (株)三津野建設 甲斐 俊博
(株)緒方建設 田中 智

「優良賞」(会 社)

(株)高野組
(工事現場)
(株)岩永組 肥後商事ビル新築工事

のそれぞれが受賞されました。

14：10 安全の誓い

私たちは、人命尊重の基本理念の下、建設産業で働く者一人ひとりの安全確保を第一にたゆまぬ努力を続けてまいりました。

その結果、平成28年の建設業における労働災害は、死亡災害、休業4日以上災害とも過去最少となりました。

今後、建設産業は、社会資本整備に係る工事量の増加が見込まれる一方、技能労働者の不足や高齢化、将来の担い手の確保・育成などの問題がありますが、今年度が最終となる「第7次建設業労働災害防止

5カ年計画」の趣旨を踏まえ、さらなる安全衛生管理活動の充実を図り、労働災害を根絶する必要があります。

このため、経営トップの強いリーダーシップの下、リスクアセスメントをはじめとする、あらゆる安全衛生活動を計画的かつ継続的に進め、現場で働く一人ひとりが、安全を最優先する「安全文化」を定着させることが重要となります。

本日の全国大会を契機として、安全衛生意識の一層の向上と建設作業に携わる人々が労働災害に遭うことがないように

- 一 「墜落・転落災害」、「建設機械・クレーン等災害」、「倒壊・崩壊災害」の三大災害防止対策等の徹底
- 一 リスクアセスメントの確実な実施とコスモスの積極的な導入
- 一 能力向上教育等安全衛生教育の充実及びメンタルヘルス対策の推進

を重点に、全員が一丸となって労働災害防止活動に取り組み、長時間労働の抑制と健康の保持増進を図ることにより、安全で働きやすい魅力ある職場環境を実現することを誓います。

以上の内容が、大会副実行委員長 土谷良直氏より宣言。

- 14 : 15 講演「最近の労働安全衛生の動向について」
厚生労働省 労働基準局
安全衛生部長 田中誠二氏
- 14 : 35 アトラクション
「北海道日本ハムファイターズ公式チアリーダー ファイターズ
ガール」
- 15 : 00 休憩
- 15 : 20 講演「日本人の品格 ～自分を磨く～」
昭和女子大学理事長・総長 坂東眞理子氏
- 16 : 30 閉会

10月6日（金）専門部会（札幌コンベンションセンター）

建築部会

9：00～ 北海道本庁舎の免震改修工事におけるリスクの見える化
—情報化技術を活用した中間免震レトロフィット工事における災害リスクの低減活動—

発表者①

(株)竹中工務店 北海道支店 生産統括部
技術グループ グループ長 西條泰史氏

作業員400人超え現場での新規入場者教育と現場作業の見える化

—所長の思いを伝える教育・視覚に訴える教育—

発表者②

鉄建建設(株) 東京支店 馬込建築作業所
所長 小山俊彦氏

以上の様な発表が、コンベンションセンター1階特別会議場で行われた。
それぞれの企業が、その規模、工事内容に違いこそあれ、日々安全及び洗練された現場運営の確立を目指し精進されていること痛感した。

以上

